

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～7組

教科担当者：（1～2組：小西）（3組：猪狩）（4～5組：小西）（6組：猪狩）（7組：小西）

使用教科書：（明治書院 「精選論理国語」）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の習得。

【思考力、判断力、表現力等】本文における情報の関係に注意し、主旨や論理展開を的確に捉える。

【学びに向かう力、人間性等】複数の文章を比較して読み、熱意を持って自分の課題に取り組む。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。	他者と伝え合う中で自分の考えを広げたり深めたりする。	論理的・批判的に考える力を付けるために読書に親しむ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			特 別	書	読					
1 学 期	A 「家族の幸せ」の経済学 ・社会において何に基づいて行動しているか考える。	・さまざまな文章の構成を学ぶ。 ・文章の要点を把握する。	○	○	○	【知・技】 情報の関係性について理解を深めている。 【思・判・表】 ・内容や構成を的確に捉えている。 【主体的態度】 ・自分の考えを論述する活動を通して、進んで情報の関係性についての理解を深めている。	○	○	○	6
	B 水墨画入門 ・感性について学ぶ。	・言葉の働きについて理解を深める。 ・関連する資料で裏付けを取る。	○	○	○	【知・技】 ・言葉の働きを理解している。 【思・判・表】 ・書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 【主体的態度】 ・論理的な文章を批評する活動を通して、進んで言葉の働きについて理解を深めている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		○	○	○	1
	C 「間」の感覚 ・日本を知り、世界を知る。	・文章の構成や展開のしかたを理解する。 ・構成を検討する。	○	○	○	【知・技】 ・文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思・判・表】 ・批判的に読まれることを想定して文章の構成や論理の展開を工夫している。 【主体的態度】 ・仮説を立てて意見文を書いている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		○	○	○	1
2 学 期	D 学びとは何かー（探究人）になるためにー ・どのように見て、考えているかを知る。	・論理の展開を意識する。 ・批判的に検討する。	○	○	○	【知・技】 ・情報と情報の関係について理解を深めている。 【思・判・表】 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討して内容を解釈している。 【主体的態度】 ・論理的な文章を批判的に検討している。	○	○	○	7
	E 人類による環境への影響 ・自然の中で人間のあり方について考える。	・仮説を検証する。 ・多面的に検討する。	○	○	○	【知・技】 ・推論の仕方について理解を深め使っている。 【思・判・表】 ・文章の構成や表現の仕方について、書き手の意図との関係において評価している。 【主体的態度】 ・論理的な文章を評価する活動を通して、進んで推論について理解を深めている。	○	○	○	7
	定期考査	定期考査		○	○		○	○	○	1
	F いのちのかたち ・技術の発展によって何が起ころのか考える。	・論理の展開を工夫する。 ・考えを形成し記述する。	○	○	○	【知・技】 ・情報を整理する方法について理解を深める。 【思・判・表】 ・自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 【主体的態度】 ・主張が的確に伝わる文章を書いている。	○	○	○	7
3 学 期	G 熱帯の贈与論 ・資本主義や経済について考える。	・言葉の定義を知る。 ・文章の内容と自己の思考を戦わせる。	○	○	○	【知・技】 ・情報と情報の関係について理解を深めている。 【思・判・表】 ・文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けている。 【主体的態度】 ・自分の考えを論述する活動を通して、進んで情報の関係について理解を深めている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		○	○	○	1
	H 「流域地図」の作り方 ・世界や身近な地域が直面する課題を考える。	・多様な表現を知り、使う。 ・題材を設定する。	○	○	○	【知・技】 ・学習に必要な語句の量を増し、文章の中で使っている。 【思・判・表】 ・書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理している。 【主体的態度】 ・積極的に語彙を習得している。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		○	○	○	1
										合計
										70



高等学校 令和5年度（2学年用）教科

地歴 科目 日本史探究

教科：地歴

科目：日本史探究

単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 1組～7組

教科担当者：（1～2組：伊藤伸）（3組：井上）（4～5組：伊藤伸）（6・7組：井上）

使用教科書：（山川出版社 『詳説日本史』）

教科 地歴

の目標：

【知識及び技能】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解する。

【思考力、判断力、表現力等】事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを考察して表現する。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に、歴史的経緯を踏まえて、現代の日本の課題を探究する。

科目 日本史探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養っている。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 〔近世から近代へ〕 〔近代国家の成立〕  近世から近代への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。</li> <li>◆幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の一掃に至るまでの経過を理解する。</li> <li>◆明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、政治的変革と国家的統一過程を理解する。</li> <li>◆欧米文化・思想の導入と近代化政策に対する土族反乱・農民一揆の発生と、言論闘争への転換を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。</li> <li>◆日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。</li> <li>◆明治政府による中央集権化の諸政策と土族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。</li> <li>◆諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。</li> </ul>	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
	B 〔近代国家の成立〕 〔近代国家の展開〕  明治新政府による中央集権体制創設政策で、どのような国家体制が成立したのかを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆政府の強力な中央集権体制への志向のもとで、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。</li> <li>◆大日本帝国憲法の性格について具体的に・多角的に理解する。</li> <li>◆東アジアをめぐる国際環境が変容する中、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。</li> <li>◆日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。</li> <li>◆対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、主体的に追究しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	17
定期考査			○	○		1	

2 学 期	C 〔近代国家の展開〕 〔近代の産業と生活〕  明治国家体制の成立後、どのような外的影響により、どのような変化が生じてくるのかを考察する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連づけて考察する。</li> <li>◆第一次世界大戦前後の政治の動向および対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて理解する。</li> <li>◆第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関係や政党内閣の成立などと関連させて考察する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆議会が戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。</li> <li>◆第一次世界大戦が日本に及ぼした影響に着目して、大戦後の国際的な協調体制における日本の立場や対外政策の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。</li> <li>◆産業の発展の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。</li> <li>◆明治期の文化に関わる政府と国民の動向を考察することを通じて、明治文化の特色を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	D 〔恐慌と第二次世界大戦〕  満洲事変や国内の国家改造運動の展開を考察することを通じて、軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に追究する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。</li> <li>◆日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について理解する。</li> <li>◆日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、日本で連続した恐慌と政府の対応などに関わる諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。</li> <li>◆当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追究しようとしている。</li> <li>◆当時の社会が抱えた矛盾と満洲事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	○	○	○	20
定期考査			○	○		1	
3 学 期	E 〔恐慌と第二次世界大戦〕 〔占領下の日本〕 〔高度成長の時代〕 〔激動する世界と日本〕  占領政策・冷戦体制とそれに関わる国内の状況について、日本の政治・外交・経済・生活文化面を踏まえて多面的・多角的にとらえる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目する。</li> <li>◆戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策および戦後の民主化政策とそれともなう諸改革について、その経過と内容を理解する。</li> <li>◆朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。</li> <li>◆科学技術・産業の発達によって派生する環境問題やエネルギー問題などの日本の課題とそれに対する日本の役割を認識する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。</li> <li>◆第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。</li> <li>◆地域社会の変容にも留意しながら、占領の前後の社会や思想・文化などを比較・考察し、その結果を根拠を明確にして表現している。</li> </ul>	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1
合計							105

高等学校 令和5年度（2学年用）教科

地歴 科目 世界史探究

教科：地歴

科目：世界史探究

単位数：3 単位

対象学年組：第 2 学年

教科担当者：（全クラス：山下

使用教科書：（山川出版 「世界史探究」

教科 地歴

の目標：

- 【知識及び技能】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養っている。
- 【学びに向かう力、人間性等】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界史の基礎的知識を身に付け、日常生活の中で見られる事象と関連付けることができる。	歴史的知識を使い、多角的・多面的に考察する力を身に付ける。また、考察身近な生活や世界各地で起きている事象と結び付け、各自の価値観に則り、自身の考えを表現することができる。	人類が直面している世界的な課題について、よりよい社会の実現のために主体的に調査し、自分事として考えを構築する姿勢を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	A 文明の成立と誕生 ◆自然環境と人々の関係を視点にして、人類が地域ごとに多様な生活を育んできたことを理解し文明の功罪について探究させる。	◆文明の成立と誕生 (文明の誕生、古代オリエント文明とその周辺、南アジアの古代文明、南北アメリカ文明)	【知識】 基本的な知識が身に付いているか。 【思考】 各地の文明の共通点と相違点を理解し、文明が環境に与えた影響を自分の言葉で説明できたか。 【態度】 歴史的事実を自分事としてとらえ、現代の諸課題に置き換えて思考することができたか。	○	○	○	17
	B 中央ユーラシアと東アジア世界、南アジア世界と東南アジア世界の展開 ◆各地の国家・社会、文化の特徴を比較して、その共通点や相違点を理解する。 ◆現代まで残る宗教の成立と展開の過程を理解し、「宗教がもつ影響力」について探究させる。	◆中央ユーラシアと東アジア世界 ◆南アジア世界と東南アジア世界の展開	【知識】 基本的な知識が身に付いているか。 【思考】 宗教の成立過程と展開を理解した上で、「宗教がもつ影響力」について自分の言葉で表現できたか。 【態度】 歴史的事実を自分事としてとらえ、現代の諸課題に置き換えて思考することができたか。	○	○	○	
	定期考査			○	○		1
	C 西アジアと地中海周辺の国家形成 ◆古代イラン・ギリシア・ローマの政治体制を踏まえて、望ましい政治体制について探究させる。	◆西アジアと地中海周辺の国家形成	【知識】 基本的な知識が身に付いているか。 【思考】 古代世界における「専制主義」と「民主主義」の問題点を理解した上で、自分の意見を表現できたか。 【態度】 歴史的事実を自分事としてとらえ、現代の諸課題に置き換えて思考することができたか。	○	○	○	17
	D イスラームの成立とヨーロッパ社会の形成、ヨーロッパ世界の変容と展開 ◆「キリスト教とイスラーム教は仲が悪い、という言説は正しいのか？」	◆イスラームの成立とヨーロッパ社会の形成 ◆ヨーロッパ世界の変容と展開	【知識】 基本的な知識が身に付いているか。 【思考】 イスラーム世界とキリスト教世界の成り立ちを理解し、「キリスト教とイスラーム教は仲が悪い、という言説は正しいのか？」という問いについて自分の考えを表現できたか。 【態度】 歴史的事実を自分事としてとらえ、現代の諸課題に置き換えて思考することができたか。	○	○	○	
定期考査			○	○		1	

2 学 期	E 東アジアの展開とモンゴル帝国 ◆「世界の一体化（グローバル化）」がどのように進展したのかを理解し、その功罪を探究させる。	◆東アジアの展開とモンゴル帝国 ◆大交易・大交流の時代 ◆アジア諸帝国の繁栄	【知識】 基本的な知識が身に付いているか。 【思考】 モンゴル帝国の歴史的意義を理解した上で、「世界の一体化（グローバル化）」の功罪について自分の考えを表現できたか。 【態度】 歴史的事実を自分事としてとらえ、現代の諸課題に置き換えて思考することができたか。	○	○	○	20
	F 産業革命と環大西洋革命 ◆産業革命と環大西洋革命が世界に与えた影響を探究し、どのように世界が変化したのかを表現させる。	◆産業革命と環大西洋革命の形成 ◆イギリスの優位と欧米国民国家の形成 ◆アジア諸地域の動揺 ◆帝国主義とアジアの民族運動	【知識】 基本的な知識が身に付いているか。 【思考】 産業革命と環大西洋革命が世界に与えた影響を探究し、どのように世界が変化したのかを表現できたか。 【態度】 歴史的事実を自分事としてとらえ、現代の諸課題に置き換えて思考することができたか。	○	○	○	
	定期考査			○	○		1
3 学 期	G 第一次世界大戦と第二次世界大戦 ◆「国民国家」の形成をもたらした「排外主義」について理解し、「国民として1つにまとまること」の功罪自分の考えを表現できる。	◆第一次世界大戦と社会の変容 ◆第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	【知識】 基本的な知識が身に付いているか。 【思考】 「国民として1つにまとまること」の功罪について自分の考えを表現できたか。 【態度】 歴史的事実を自分事としてとらえ、現代の諸課題に置き換えて思考することができたか。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	H 冷戦と今日の世界 ◆現代の社会情勢が形成された過程を理解し、地球社会の課題を探究させる。	◆冷戦と第三世界の台頭 冷戦の展開、第三世界の台頭とキューバ危機、冷戦体制の動揺 ◆冷戦の終結と今日の世界	【知識】 基本的な知識が身に付いているか。 【思考】 「わたしたちは科学技術の進歩にどこまで責任を持つべきか」について自分の考えを表現できたか。 【態度】 歴史的事実を自分事としてとらえ、現代の諸課題に置き換えて思考することができたか。	○	○	○	26
◆現代の社会情勢が形成された過程を理解した上で、地球社会の課題を探究させる。		【知識】 基本的な知識が身に付いているか。 【思考】 学んだ知識を活用しながら、自ら問いを立てて地球社会の課題について探究することができたか。 【態度】 歴史的事実を自分事としてとらえ、現代の諸課題に置き換えて思考することができたか。	○	○	○		
定期考査			○	○		1	
							合計
							105

高等学校 令和5年度（2学年用）教科

公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～7組

教科担当者：（1～7組：林）

使用教科書：（詳述『公共』（実教出版））

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、構想したことを議論する力を養っている。

【学びに向かう力、人間性等】 現代の諸課題を解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国民主権を担う公民としての自覚を深める。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身に付けている。	現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生きる公民として、相互に尊重し、協力し合うことの大切さについての自覚などを深めている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 【社会を作る私たち】 ・自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解させる。 ・地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現させる。	・生涯における青年期の意義 ・青年期と自己形成の課題 ・職業生活と社会参加 ・現代社会と青年の生き方	【知識・技能】 ・自らの体験などを振り返ることを通して、人間としての在り方生き方について理解している。 【思考・判断・表現】 ・他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を存在する存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	5
	B 【人間としてよく生きる】 ・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解させる。	・ギリシアの思想 ・宗教の教え ・人間の尊重 ・人間の自由と尊厳 ・個人と社会 ・主体性の確立 ・他者の尊重 ・公正な社会	【知識・技能】 ・現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、人間としての在り方生き方について探求することや、よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	C 【民主社会の倫理】 ・人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解させる。	・人間の尊厳と平等 ・自由、権利と責任、義務	【知識・技能】 ・人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 【思考・判断・表現】 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における基本的原理について理解しようとしている。	○	○	○	2
	D 【民主国家における基本原理】 ・個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解させる。	・人権保障の発展と民主政治の成立 ・国民主権と民主政治の発展	【知識・技能】 ・個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 【思考・判断・表現】 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における基本的原理について理解しようとしている。	○	○	○	2
定期考査			○	○		1	

2 学 期	E【日本国憲法の基本的性格】 ・法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解させる。	・日本国憲法の成立 ・平和主義とわが国の安全 ・基本的人権の保障 ・人権の広がり	【知識・技能】 ・法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に論議して考察したり構想したりしたことを、論議をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	7
	F【日本の政治機構と政治参加】 ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解させる。	・政治機構と国民生活 ・人権保障と裁判所 ・地方自治 ・選挙と政党 ・政治参加と世論	【知識・技能】 ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に論議をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して、司法参加の意義、政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	G【現代の経済社会】 ・雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られることが必要であることについて理解させる。	・経済社会の形成と変容 ・市場のしくみ ・現代の企業 ・経済成長と景気変動 ・金融機関の働き ・政府の役割と財政、租税	【知識・技能】 ・雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られることが必要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に論議をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
H【経済活動のあり方と国民福祉】 ・多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られることが必要であることについて理解させる。	・日本経済の歩みと近年の課題 ・中小企業と農業 ・公害防止と環境保全 ・消費者問題 ・労働問題と雇用 ・社会保障	【知識・技能】 ・多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題について理解している。 【思考・判断・表現】 ・合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて論議をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化など現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8	
定期考査			○	○		1	
3 学 期	I【国際政治の動向と課題】 ・国家主権、領土、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり、国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解させる。	・国際社会における政治と法 ・国家安全保障と国際連合 ・冷戦終結後の国際政治 ・軍備競争と軍備縮小 ・異なる人種、民族との共存 ・国際平和と日本	【知識・技能】 ・国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解している。 【思考・判断・表現】 ・合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に論議をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国家主権、領土、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	7
	J【国際経済の動向と課題】 ・経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、世界経済がより緊密に結び付き、経済活動が世界的な規模で自由に行われていること、一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど、国際社会において相互依存関係が一層深まっていること、国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解させる。	・国際経済のしくみ ・国際経済体制の変化 ・経済のグローバル化と金融危機 ・地域経済統合と新興国 ・ODAと経済協力	【知識・技能】 ・経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、世界経済がより緊密に結び付き、経済活動が世界的な規模で自由に行われていること、一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど、これらの解決が地球的な課題であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に論議をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して、経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなど現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

合計  
70



高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

数学 科目 数学Ⅱ

教科： 数学

科目： 数学Ⅱ

単位数： 4 単位

対象学年組： 第 2 学年 1～7 組

教科担当者： （1・2組：鈴木）（3組：佐村）（4・5組：佐村・鈴木・野原）（6・7組：佐村・鈴木・野原）

使用教科書：（高等学校「数学Ⅱ」数研出版）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】数学リテラシーを身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考方法を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】数学的な法則や理論背景などを調べようとする態度を身に付ける。

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養っている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養っている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 第1章【式と証明】 【知識及び技能】 多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことを証明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解している。	・教科書 高等学校「数学Ⅱ」数研出版 ・1人1台端末の活用 ・指導項目 3次式の展開と因数分解 二項定理 多項式の割り算 分数式とその計算 恒等式 等式の証明	【知識・技能】 授業時間内調査による。 【思考・判断・表現】 授業時間内調査による。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業時間内調査による。	○	○	○	22
定期考査			○	○		1
B 第2章【複素数と方程式】 【知識及び技能】 方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 剰余の定理や因数分解を利用して高次方程式を解くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 複素数についての理解を深め、方程式を解こうとする。	・教科書 高等学校「数学Ⅱ」数研出版 ・1人1台端末の活用 ・指導項目 複素数とその計算 2次方程式の解 解と係数の関係 剰余の定理と因数定理	【知識・技能】 授業時間内調査による。 【思考・判断・表現】 授業時間内調査による。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業時間内調査による。	○	○	○	20
C 第3章【図形と方程式】 【知識及び技能】 座標や式を用いて、直線の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識する。 【思考力、判断力、表現力等】 座標や式を用いて、円の性質や関係を数学的に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 図形と方程式の有用性を認識するとともに、事象の考察に活用している。	・教科書 高等学校「数学Ⅱ」数研出版 ・1人1台端末の活用 ・指導項目 直線上の点 平面上の点 直線の方程式 直線の関係 円の方程式 円と直線	【知識・技能】 授業時間内調査による。 【思考・判断・表現】 授業時間内調査による。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業時間内調査による。	○	○	○	25
定期考査			○	○		1

2 学 期	D 第4章【三角関数】 【知識及び技能】 角の概念を一般角まで拡張して、計算することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 加法定理を理解し、それらを事象の考察に活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できる。	・教科書 高等学校「数学Ⅱ」数研出版 ・1人1台端末の活用 ・指導項目 角の拡張 三角関数 三角関数のグラフ 三角関数の性質 加法定理 加法定理の応用	【知識・技能】 授業時間内調査による。 【思考・判断・表現】 授業時間内調査による。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業時間内調査による。	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1
	E 第5章【指数関数と対数関数】 【知識及び技能】 指数関数・対数関数を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 指数関数・対数関数を事象の考察に活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 指数関数・対数関数を事象の考察に活用しようとしている。	・教科書 高等学校「数学Ⅱ」数研出版 ・1人1台端末の活用 ・指導項目 指数の拡張 指数関数 対数とその性質 対数関数	【知識・技能】 授業時間内調査による。 【思考・判断・表現】 授業時間内調査による。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業時間内調査による。	○	○	○	20
定期考査			○	○		1	
3 学 期	F 第6章【微分法と積分法】 【知識及び技能】 微分・積分の意味について理解し、それらの有用性を認識する。 【思考力、判断力、表現力等】 微分・積分の有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 微分・積分の有用性を認識するとともに、事象の考察に活用しようとしている。	・教科書 高等学校「数学Ⅱ」数研出版 ・1人1台端末の活用 ・指導項目 微分係数 導関数とその計算 接線の方程式 関数の増減と極大・極小 関数の増減・グラフの応用 不定積分 定積分	【知識・技能】 授業時間内調査による。 【思考・判断・表現】 授業時間内調査による。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業時間内調査による。	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1
							合計
							140

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

数学 科目 数学B

教科： 数学

科目： 数学B

単位数： 1 単位

対象学年組： 第 2 学年 4 組～ 7 組

教科担当者： （4～7組：佐村）

使用教科書：（高等学校「数学B」数研出版）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学リテラシーを身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的思考方法を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 数学的な法則や理論背景などを調べようとする態度を身に付ける。

科目 数学B の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養っている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養っている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	第1章【数列】 A第1節 等差数列と等比数列 【知識及び技能】 数列やその一般項の表し方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】基本的な数列として等差数列を理解し、それらの和を求められる。 【学びに向かう力、人間性等】 数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養っている。	・教科書 高等学校「数学B」数研出版 ・1人1台端末の活用 ・指導項目 数列と一般項 等差数列	【知識・技能】 授業時間内調査による。 【思考・判断・表現】 授業時間内調査による。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業時間内調査による。	○	○	○	6
	定期テスト			○	○	1	
	第1章【数列】 B第1節 等差数列と等比数列 【知識及び技能】 数列やその一般項の表し方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】基本的な数列として等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養っている。	・教科書 高等学校「数学B」数研出版 ・1人1台端末の活用 ・指導項目 等比数列 等比数列の和	【知識・技能】 授業時間内調査による。 【思考・判断・表現】 授業時間内調査による。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業時間内調査による。	○	○	○	6
	定期テスト			○	○	1	
2 学期	C第2節 いろいろな数列 【知識及び技能】 等差数列と等比数列の和の記号 $\Sigma$ の表し方や性質を理解し、活用できる。 【思考力、判断力、表現力等】いろいろな数列について、その一般項や和を求めたり、和から一般項を求めたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養っている。	・教科書 高等学校「数学B」数研出版 ・1人1台端末の活用 ・指導項目 和の記号 階差数列	【知識・技能】 授業時間内調査による。 【思考・判断・表現】 授業時間内調査による。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業時間内調査による。	○	○	○	5
	定期テスト			○	○	1	
	D第2節 いろいろな数列 【知識及び技能】 等差数列と等比数列の和の記号 $\Sigma$ の表し方や性質を理解し、活用できる。 【思考力、判断力、表現力等】いろいろな数列について、その一般項や和を求めたり、和から一般項を求めたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養っている。	・教科書 高等学校「数学B」数研出版 ・1人1台端末の活用 ・指導項目 階差数列 いろいろな数列の和	【知識・技能】 授業時間内調査による。 【思考・判断・表現】 授業時間内調査による。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業時間内調査による。	○	○	○	6
	定期テスト			○	○	1	
3 学期	E第3節 漸化式と数学的帰納法 【知識及び技能】 数列の帰納的な定義について理解し、漸化式から一般項が求められる。 【思考力、判断力、表現力等】 複雑な漸化式を既知のものに帰着して考えられる。また、数学的帰納法の仕組みを理解し、様々な命題の証明に活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養っている。	・教科書 高等学校「数学B」数研出版 ・1人1台端末の活用 ・指導項目 漸化式 数学的帰納法	【知識・技能】 授業時間内調査による。 【思考・判断・表現】 授業時間内調査による。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業時間内調査による。	○	○	○	7
	定期テスト			○	○	1	
				○	○	合計 35	

高等学校 令和5年度 (2学年用) 教科

数学 科目 数学C

教科: 数学 科目: 数学C

単位数: 1 単位

対象学年組: 第 2 学年 4 組 ~ 7 組

教科担当者: ( 4 ~ 7 組: 佐村 )

使用教科書: ( 高等学校 「数学C」 数研出版 )

教科 数学 の目標:

【知識及び技能】数学リテラシーを身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考方法を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】数学的な法則や理論背景などを調べようとする態度を身に付ける。

科目 数学C の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したし、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養っている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養っている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	第1章【平面上のベクトル】 A 第1節 ベクトルとその演算 【知識及び技能】 向きと大きさをもつ量としてのベクトルの意味およびその演算について理解し、成分表示も含めてベクトルの演算ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ベクトルの内積について理解し、平面上のベクトルのなす角について考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ベクトルを様々な図形の考察に役立てようとする姿勢を養っている。	・教科書 高等学校「数学C」数研出版 ・1人1台端末の活用 ・指導項目 ベクトル ベクトルの演算	【知識・技能】 授業時間内調査による。 【思考・判断・表現】 授業時間内調査による。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業時間内調査による。	○	○	○	6
	定期テスト			○	○		1
	第1章【平面上のベクトル】 B 第1節 ベクトルとその演算 【知識及び技能】 向きと大きさをもつ量としてのベクトルの意味およびその演算について理解し、成分表示も含めてベクトルの演算ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ベクトルの内積について理解し、平面上のベクトルのなす角について考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ベクトルを様々な図形の考察に役立てようとする姿勢を養っている。	・教科書 高等学校「数学C」数研出版 ・1人1台端末の活用 ・指導項目 ベクトルの成分 ベクトルの内積	【知識・技能】 授業時間内調査による。 【思考・判断・表現】 授業時間内調査による。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業時間内調査による。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1	
2 学 期	C 第2節 ベクトルと平面図形 【知識及び技能】 位置ベクトルについて理解し、位置ベクトルを図形の性質を調べるのに活用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 図形をベクトルを用いて表せることを理解し、基本的な図形のベクトル方程式を求めたり、ベクトル方程式が表す図形を求めたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 ベクトルを様々な図形の考察に役立てようとする姿勢を養っている。	・教科書 高等学校「数学C」数研出版 ・1人1台端末の活用 ・指導項目 位置ベクトル ベクトルの図形への応用	【知識・技能】 授業時間内調査による。 【思考・判断・表現】 授業時間内調査による。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業時間内調査による。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	D 第2節 ベクトルと平面図形 【知識及び技能】 位置ベクトルについて理解し、位置ベクトルを図形の性質を調べるのに活用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 図形をベクトルを用いて表せることを理解し、基本的な図形のベクトル方程式を求めたり、ベクトル方程式が表す図形を求めたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 ベクトルを様々な図形の考察に役立てようとする姿勢を養っている。	・教科書 高等学校「数学C」数研出版 ・1人1台端末の活用 ・指導項目 ベクトルの図形への応用 図形のベクトルによる表示	【知識・技能】 授業時間内調査による。 【思考・判断・表現】 授業時間内調査による。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業時間内調査による。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1	
3 学 期	第2章【空間のベクトル】 E 第2節 ベクトルと平面図形 【知識及び技能】 平面上のベクトルの拡張として空間のベクトルを捉え、空間図形の性質の考察などに活用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 座標空間における点や図形について考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ベクトルを様々な図形の考察に役立てようとする姿勢を養っている。	・教科書 高等学校「数学C」数研出版 ・1人1台端末の活用 ・指導項目 空間の点 空間のベクトル ベクトルの成分 ベクトルの内積 ベクトルの図形への応用 空間座標における図形	【知識・技能】 授業時間内調査による。 【思考・判断・表現】 授業時間内調査による。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業時間内調査による。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1 合計 35

【知識及び技能】 科学リテラシーを身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的思考方法を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 科学的調査方法を身に付ける。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質や物質現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質や物質が変化する現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	物質や物質が変化する現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			記時数	
				知	思	態		
1 学 期	A 第1節 化学結合と結晶 ・化学結合とそれぞれの性質、及び結晶構造を理解させる。	自由電子、金属結合、イオン結合、共有結合、分子、配位結合、極性分子、無極性分子、結晶、単位格子、配位数、金属結晶、イオン結晶、分子結晶、共有結合結晶	【知識・技能】 化学結合の種類と、それぞれの性質について理解することができる。 【思考・判断・表現】 結晶の構造(体心立方格子、面心立方格子、六方最密構造など)について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	17	
	B 第2節 結晶の構造 ・結晶の構造を理解させる。	体心立方格子、面心立方格子、六方最密構造、最密構造、充填率、ファンデルワールス力、水素結合、分子間力	【知識・技能】 アモルファス・シリコンの性質を理解することができる。 【思考・判断・表現】 アモルファス・シリコンの性質について振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○		
	C 第3節 アモルファス(非晶質) ・アモルファスの性質を理解させる。	アモルファス、非晶質	【知識・技能】 アモルファス・シリコンの性質を理解することができる。 【思考・判断・表現】 アモルファス・シリコンの性質について振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○		
	D 第1節 状態変化 ・状態変化に伴うエネルギーの出入りを学び、物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連づけて理解させる。	熱運動、融解熱、蒸発熱、昇華熱、凝縮熱、凝固点、凝固熱、過冷却	【知識・技能】 気体の体積の変化・溶液について理解することができる。 【思考・判断・表現】 溶液の性質や気体の体積と圧力や温度との関係や、ボイル・シャルルの法則について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○		
	定期考査			○	○			1
	E 第2節 気体の状態方程式 ・気体定数と状態方程式、分子量の関係を理解させる。	気体定数、気体の状態方程式、全圧、分圧、分圧の法則、モル分率、理想気体、実在気体	【知識・技能】 気体の体積の変化・溶液について理解することができる。 【思考・判断・表現】 溶液の性質や気体の体積と圧力や温度との関係や、ボイル・シャルルの法則について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○		
2 学 期	F 第1節 溶解と溶解度 ・溶解の仕組みを理解させること。また、溶解度を溶解平衡と関連づけて理解させる。	溶解、溶媒、溶質、溶液、水溶液、極性溶媒、無極性溶媒、水和、水和イオン、親水基、疎水基(親油性)	【知識・技能】 希薄溶液の性質について理解することができる。 【思考・判断・表現】 身近な現象を通して溶媒と溶液の性質(蒸気圧降下、沸点上昇、凝固点降下、浸透圧など)の違いについて考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	17	
	G 第2節 希薄溶液の性質 ・身近な現象を通して溶媒と溶液の性質の違いを理解させる。	飽和溶液、溶解平衡、溶解度、水和物、水和水、結晶水、無水物、無水塩、再結晶、過飽和、ヘンリーの法則、質量パーセント濃度、質量モル濃度	【知識・技能】 希薄溶液の性質について理解することができる。 【思考・判断・表現】 身近な現象を通して溶媒と溶液の性質(蒸気圧降下、沸点上昇、凝固点降下、浸透圧など)の違いについて考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○		
	H 第3節 コロイド ・コロイド溶液の性質を理解させる。	コロイド粒子、コロイド、コロイド溶液(ゾル)、ゲル、キセロゲル、分散質、分散媒、分子コロイド、ミセル、会合コロイド(ミセルコロイド)、分散コロイド、懸濁液、乳濁液、チンダル現象、ブラウン運動、透析、電気泳動、疎水コロイド、凝析、親水コロイド、塩析、凝集、保護コロイド	【知識・技能】 反応エンタルピーについてその種類や化学反応式とエンタルピー変化での表し方について理解することができる。 【思考・判断・表現】 化学反応における熱の発生や吸収は、反応の前後における物質のもつエンタルピーの差であることを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○		
	定期考査			○	○			1
	I 第1節 反応エンタルピーとエンタルピー ・化学反応における熱の発生や吸収は、反応の前後における物質のもつエンタルピーの差であることを理解させる。	温度、熱、熱量、熱容量、比熱、反応エンタルピー、エンタルピー変化 $\Delta H$ 、エンタルピー図、系、外界、エネルギー図、発熱反応、吸熱反応、反応エンタルピー [kJ/mol]	【知識・技能】 反応エンタルピーについてその種類や化学反応式とエンタルピー変化での表し方について理解することができる。 【思考・判断・表現】 化学反応における熱の発生や吸収は、反応の前後における物質のもつエンタルピーの差であることを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○		
	J 第2節 ヘスの法則 ・物質が変化するとき出入りする熱量(反応エンタルピー)は、最初と最後の状態だけで決まり、反応経路には無関係であることを理解させる。	ヘスの法則、結合エネルギー	【知識・技能】 反応エンタルピーについてその種類や化学反応式とエンタルピー変化での表し方について理解することができる。 【思考・判断・表現】 化学反応における熱の発生や吸収は、反応の前後における物質のもつエンタルピーの差であることを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○		
3 学 期	K 第3節 化学反応と光 ・化学反応における光の発生や吸収は、反応の前後における物質のもつエンタルピーの差であることを理解させる。	光合成、光電極、光触媒、化学発光、生物発光	【知識・技能】 化学反応における発光や光合成のしくみをエンタルピーとの関係から理解することができる。 【思考・判断・表現】 化学反応における光の発生や吸収は、反応の前後における物質のもつエンタルピーの差であることを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	19	
	L 第1節 電池 ・電池は、酸化還元反応によって電気エネルギーを取り出す仕組みであることを理解させる。	電池、負極、正極、負極活物質、正極活物質、起電力、ダニエル電池、放電、充電、一次電池(蓄電池)、一次電池、鉛蓄電池、燃料電池、アルカリマンガン乾電池、リチウムイオン電池	【知識・技能】 電気分解における陽極、陰極それぞれの反応を知り、電気分解の原理を理解することができる。 【思考・判断・表現】 外部から加えた電気エネルギーによって、電極で酸化還元反応が起こることを理解する。また、その反応に関与した物質の変化量と電気量との関係について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○		
	定期考査			○	○			1
	M 第2節 電気分解 ・外部から加えた電気エネルギーによって、電極で酸化還元反応が起こることを理解させる。また、その反応に関与した物質の変化量と電気量との関係について理解させる。	電気分解(電解)、陰極、陽極、溶融塩電解、ファラデー定数、電解精錬、陽極泥	【知識・技能】 電気分解における陽極、陰極それぞれの反応を知り、電気分解の原理を理解することができる。 【思考・判断・表現】 外部から加えた電気エネルギーによって、電極で酸化還元反応が起こることを理解する。また、その反応に関与した物質の変化量と電気量との関係について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○		
	N 第1節 反応の速さ ・反応速度の表し方及び反応速度に影響を与える要因を理解させる。	反応速度、反応速度式(速度式)、反応速度定数(速度定数)、反応次数、一次反応、二次反応、半減期、活性化エネルギー、遷移状態、触媒、アレニウスの式、均一系触媒(均一触媒)、不均一系触媒(不均一触媒)、三元触媒、ラジカル(遊離基)、連鎖反応、素反応、多段階反応、律速段階	【知識・技能】 電気分解における陽極、陰極それぞれの反応を知り、電気分解の原理を理解することができる。 【思考・判断・表現】 外部から加えた電気エネルギーによって、電極で酸化還元反応が起こることを理解する。また、その反応に関与した物質の変化量と電気量との関係について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○		
	O 第2節 化学反応と触媒 ・化学反応の仕組みを理解させ、反応速度を速める触媒について理解させる。			○	○			1
定期考査			○	○		1		
							合計	
							105	

高等学校 令和5年度（2学年用）教科

理科 科目 地学基礎

教科：理科 科目：地学基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～7組

教科担当者：（1組：三浦、2～7組：小田島）

使用教科書：（「高等学校 地学基礎」 実況出版）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養っている。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養っている。

科目 地学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、宇宙や自然現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養っている。	宇宙や自然現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養っている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準			配当 時数	
			知	思	態		
1 学 期	A 活動する地球  【知識・技能】 地球の概形やプレートテクトニクスの仕組みを学び、地殻で起こる地学的現象について理解する。  【思考・判断・表現】 地球の大きさの測定や、プレート運動と地震・火山や大地形の関係について考える。  【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 1 地球の形と大きさ 2 地球の構造 3 プレートテクトニクスと地殻変動 4 プレート運動のしかた  ・教材 教科書、図表、自作プリント ICT機器、PC等	【知識・技能】 ・適切に位置情報や機器を利用し、地球の大きさやプレートの移動速度を求められる。 ・3種類のプレート境界と大地形や地震・火山などの地殻変動との関係がわかる。  【思考・判断・表現】 ・地球が球である証拠を理解したり、回転楕円体について考えられる。 ・大地形や地殻変動に分布を見てプレートの運動について考えられる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実習方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
	B 地震と火山  【知識・技能】 地震や火山が発生するメカニズムについて理解する。  【思考・判断・表現】 3つのプレート境界と地震・火山との関係について考える。  【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 5 地震 6 地震の分布 7 地震災害 8 火山活動 9 火山がもたらす恵みと災害  ・教材 教科書、図表、自作プリント 各種標本、ICT機器、PC等	【知識・技能】 ・地下構造と関連させて地震・火山が起こるメカニズムがわかる。 ・地震や火山の発生に伴って起こり得る現象や災害について理解できる。  【思考・判断・表現】 ・地震の伝わり方を的確に理解し、震源決定をすることができる。 ・地震災害や火山災害について理解し、それに対する防災対策について考えられる。 ・火山の形やマグマの性質から噴火様式や火山災害を予測することができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実験観察方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	11
定期考査			○	○	○	1	

2 学 期	C 移り変わる地球	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項 10 堆積作用と堆積岩 11 地層の形成 12 化石と地質時代の区分 13 古生物の変遷</li> <li>・教材 教科書、図表、自作プリント 各種標本、ICT機器、PC等</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川的作用等によって形成される地形や、堆積岩の形成過程がわかる。</li> <li>・地層や化石の形成過程を理解し、そこから推測される地球史がわかる。</li> <li>・古生物と地球環境との関わりがわかる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地質構造や含まれる化石から堆積した時代や環境を推測できる。</li> <li>・地表の変化のメカニズムについて理解し、起こり得る災害を予測することができる。</li> <li>・生物の変遷と地球環境との関係を理解し、地球環境の保全について考えられる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習方法や実験方法を工夫している。</li> <li>・学習内容に関連する事柄を調べている。</li> <li>・学習を振り返り、課題を分析している。</li> </ul>	○	○	○	18
	定期考査			○	○	○	1
	D 大気と海洋、地球の環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項 14 大気の種類 15 地球全体の熱収支 16 大気の大循環 17 海水の運動 18 日本の天気と気象災害 19 気候の自然変動 20 人間活動による環境変化 21 日本の自然環境</li> <li>・教材 教科書、図表、自作プリント 各種標本、ICT機器、PC等</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大気や海洋の層構造について、それぞれの特徴と関連づけて理解できる。</li> <li>・地球のエネルギー収支と、大気・海洋の運動と関連づけて理解できる。</li> <li>・自然現象の季節変化や長期的変動をもとに、地球の自然環境について理解できる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天気図や資料、データをもとに考え、天気や起こり得る現象について考えられる。</li> <li>・気象・海洋現象のメカニズムについて理解し、起こり得る災害について考えられる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習方法や実験方法を工夫している。</li> <li>・学習内容に関連する事柄を調べている。</li> <li>・学習を振り返り、課題を分析している。</li> </ul>	○	○	○	10
定期考査			○	○	○	1	
3 学 期	E 太陽系と宇宙	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項 22 太陽系の天体 23 太陽 24 太陽系の誕生と現在の地球 25 宇宙の誕生</li> <li>・教材 教科書、図表、自作プリント ICT機器、PC等</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽系の天体の特徴と形成過程がわかる。</li> <li>・太陽の特徴と、地球への影響がわかる。</li> <li>・宇宙の階層構造を理解し、ビッグバンから始まった宇宙の歴史がわかる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな天体の特徴から、それらの形成過程や未来の姿について考えられる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習方法や実験方法を工夫している。</li> <li>・学習内容に関連する事柄を調べている。</li> <li>・学習を振り返り、課題を分析している。</li> </ul>	○	○	○	11
	定期考査			○	○	○	1
合計							70

高等学校 令和5年度（2学年用）教科

理科 科目 物理基礎

教科：理科

科目：物理基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 4 組～ 7 組

教科担当者：（ 4・5組：小河原 ） （ 6・7組：三浦 ）

使用教科書：（「高等学校 物理基礎」啓林館）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養っている。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養っている。

科目 物理基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養っている。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養っている。	物理学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や環境に関する考え方を養っている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 物体の運動  【知識・技能】 物体の運動の基本的な表し方について、直線運動を中心に理解させる。  【思考・判断・表現】 物体の変位や速度などを考えたり、x-tグラフやv-tグラフから物体の運動を考えることができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 仕事 運動エネルギー 位置エネルギー 力学的エネルギーの保存  ・教材 教科書、自作プリント ICT機器、PC等	【知識・技能】 物体の加速度や加速度運動を理解することができる。  【思考・判断・表現】 物体による速度の変化の様子に興味を持ち、その違いについて調べようとする。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実習方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
	B 力と運動  【知識・技能】 様々な力がはたらくときの物体の運動を理解させる。  【思考・判断・表現】 摩擦力や浮力、圧力など物体にはたらく様々な力と、その作用による物体の運動がわかる。  【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 力 運動の法則 様々な力と運動  ・教材 教科書、自作プリント ICT機器、PC等	【知識・技能】 物体の質量や物体にはたらく力を変えて物体の運動を調べ、運動の様子をグラフに表すことができる。  【思考・判断・表現】 力がはたらいた物体の運動の様子から運動の三法則を確認し、グラフを作成して運動方程式を考えることができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実験観察方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	11
定期考査				○	○	○	1



2 学 期	C 仕事とエネルギー	<p>・指導事項 仕事 運動エネルギー 位置エネルギー 力学的エネルギーの保存</p> <p>・教材 教科書、自作プリント ICT機器、PC等</p>	<p>【知識・技能】 保存力が仕事をするとき、物体の運動エネルギーと位置エネルギーが相互に変換することで、力学的エネルギーが保存されることがわかる。</p> <p>【思考・判断・表現】 物体の運動エネルギーと位置エネルギーが相互に変換すること、それらの和が一定に保たれることを、力学的エネルギー保存の法則として確認している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実験観察方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。</p>	○	○	○	18
	定期考査			○	○	○	1
	D 熱とエネルギー	<p>・指導事項 熱と温度 熱量 熱の利用 波の伝わり方 波の性質 音波の性質 音源の振動</p> <p>・教材 教科書、自作プリント ICT機器、PC等</p>	<p>【知識・技能】 熱から仕事への転化を、熱機関に関連づけて理解することができる。 波の性質を理解することができる。 音波と音の三要素などの性質と、可聴音や超音波についてわかる。</p> <p>【思考・判断・表現】 熱運動のエネルギーと仕事を関連づけ、エネルギー変換の熱機関への応用を考えることができる。 波がエネルギーと情報を運ぶことについて考えることができる。 音波の性質と様々な音について考えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実験方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。</p>	○	○	○	10
定期考査			○	○	○	1	
3 学 期	E 電気と磁気	<p>・指導事項 静電気 電流 電磁誘導と発電機 交流と電磁波</p> <p>・教材 教科書、自作プリント ICT機器、PC等</p>	<p>【知識・技能】 導体、絶縁体、半導体と、半導体を応用した技術についてわかる。 静電気と電子を関連づけ、電荷と電気量について考えることができる。 磁気と電流の種類を確認し、交流を整流に変換するしくみがわかる。</p> <p>【思考・判断・表現】 オームの法則と様々な抵抗の接続や合成抵抗、電流の熱作用との関係についてわかる。 電流、電圧、電気抵抗の関係について導線内の自由電子の動きと、発生する熱に関連づけて考えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実験方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。</p>	○	○	○	11
	定期考査			○	○	○	1

合計  
70

高等学校 令和5年度 (2学年用) 教科

保健体育 科目 保健体育

教科: 保健体育 科目: 保健体育

単位数: 1 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組 ~ 7 組

教科担当者: (1~3組: 玉山) (4~5組: 鎌田) (6~7組: 砂山)

使用教科書: (現代高等保健体育 )

教科 保健体育 の目標:

【知識及び技能】 自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、現代社会と健康について理解する。

【思考力、判断力、表現力等】 疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができる。

【学びに向かう力、人間性等】 個人及び社会生活における健康・安全に関する内容について科学的に思考・判断し、総合的に捉えることができる。

科目 保健体育 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・ 自他の健康課題を把握できたか ・ 課題解決の方法を実践できる技能が定着したか ・ 疾病予防の知識が理解できたか	・ 疾病のリスク軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりについて科学的に思考 ・ 判断し総合的にとらえることができる	・ 個人の課題のみならず社会全体の課題としてとらえる視野が持っているか

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元『生涯を通じる健康』 生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し理解を深め、その解決を目指した活動を身に付けることが出来る。	オリエンテーション ライフステージと健康 思春期と健康 性意識と性行動の選択 妊娠・出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶 結婚生活と健康 中高年期と健康	【知識及び技能】 我が国の健康問題について、理解したことを言ったり書いたりしている。  【思考力、判断力、表現力等】 我が国の健康課題など、理解したことを整理し、道筋を立てて説明したり、ノートなどに記述したりしている。  【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の健康問題について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
2 学 期	B 単元『生涯を通じる健康』 『健康を支える環境づくり』 生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し理解を深め、その解決を目指した活動を身に付けることが出来る。	働くことと健康 労働災害と健康 健康的な職業生活 大気汚染と健康 環境と健康にかかわる対策 ごみの処理と上下水道の整備 食品の安全性 食品衛生に関わる活動	【知識及び技能】 我が国の健康問題について、理解したことを言ったり書いたりしている。  【思考力、判断力、表現力等】 我が国の健康課題など、理解したことを整理し、道筋を立てて説明したり、ノートなどに記述したりしている。  【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の健康問題について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	C 単元『健康を支える環境づくり』	保健サービスとその活用 医療サービスとその活用 医薬品の制度とその活用 さまざまな保健活動や社会的対策 健康に関する環境づくりと社会参加	【知識及び技能】 我が国の健康問題について、理解したことを言ったり書いたりしている。  【思考力、判断力、表現力等】 我が国の健康課題など、理解したことを整理し、道筋を立てて説明したり、ノートなどに記述したりしている。  【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の健康問題について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
							合計
							35

高等学校 令和5年度 (2学年用) 教科

保健体育 科目 体育

教科: 保健体育 科目: 体育

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組 ~ 7 組

教科担当者: (1組: 玉山・鎌田) (2・3組: 玉山・鎌田・柳澤・砂山) (4・5組: 玉山・柳澤・砂山・前田) (6・7組: 玉山・柳澤・砂山・前田・鎌田)

使用教科書: (「現代高等保健体育」)

教科 保健体育 の目標:

- 【知識及び技能】運動特性に応じた技能など及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養っている。
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養っている。

科目 体育 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性及び体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付ける。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間と考えたことを他者に伝える力を養っている。	運動における競争や共同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養っている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 体ほぐし ・オリエンテーション ・体力を総合的に高める運動および今後のスポーツの基礎となる走・跳・投の各運動を行う。	・ストレッチング ・スタートダッシュ ・各種跳躍運動 ・ハンドボール投げ ・体重を使った筋力トレーニング(腕立て伏せ等)	【知識・技能】 各種の動作を行い、体の調子に気付いたり関わりあったりできた。 【思考・判断・表現】 各種の動作で自他の危険を回避し、安全に留意する活動委方法を提案できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いに応じた動きを大切に、主体的に取り組もうとした。	○	○	○	6
	B バドミントン (男子)	・ストローク ・クリア ・ドライブ ・サービス ・ヘアピン ・スマッシュ ・簡易ゲーム	【知識・技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連動した動きによって空間を作り出すなどの攻防ができる。 【思考・判断・表現】 各種の動作で自他の危険を回避し、安全に留意する活動委方法を提案できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いに応じた動きを大切に、主体的に取り組もうとした。	○	○	○	12
	C 卓球 (男女)	・ストローク ・ドライブ、カット ・サービス ・ラリー ・スマッシュ ・簡易ゲーム	【知識・技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連動した動きによって空間を作り出すなどの攻防ができる。 【思考・判断・表現】 各種の動作で自他の危険を回避し、安全に留意する活動方法を提案できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いに応じた動きを大切に、主体的に取り組もうとした。	○	○	○	
	D テニス (男女)	・ストローク ・ボレー ・サービス ・ラリー ・簡易ゲーム	【知識・技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連動した動きによって空間を作り出すなどの攻防ができる。 【思考・判断・表現】 各種の動作で自他の危険を回避し、安全に留意する活動方法を提案できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いに応じた動きを大切に、主体的に取り組もうとした。	○	○	○	
	E ソフトボール (女子)	・キャッチ ・スロー ・トスバッティング ・フィールディング ・ピッチング ・簡易ゲーム	【知識・技能】 状況に応じたバット・グラブ操作や安定した用具の操作と連動した動きによって、打つ、捕る、投げる、走るを実施し、攻防ができる。 【思考・判断・表現】 各種の動作で自他の活動を振り返り、課題解決や安全に留意する活動方法を提案できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いに応じた動きやフェアプレイを大切に、危険予測をしながら回避行動をとるなどを主体的に取り組もうとした。	○	○	○	
	F 水泳 クロール、平泳ぎのキック、ストローク、コンビネーションを再確認する。	・水中歩行 ・バタ足 ・クロールのストローク ・平泳ぎのキック ・平泳ぎのストローク ・コンビネーション	【知識・技能】 各種泳法を理解し、手足バランスを保ち長く又は早く泳ぐことができた。 【思考・判断・表現】 選択した泳法に浮いて、動きを分析し、良い点や修正点を指摘できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全に配慮し自他の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしたことができた。	○	○	○	9

2 学 期	水泳 平泳ぎ・背泳のキック、ストローク、 コンビネーションを再確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>水中歩行</li> <li>平泳ぎのキック</li> <li>平泳ぎのストローク</li> <li>背泳のキック</li> <li>背泳のストローク</li> <li>コンビネーション</li> </ul>	<p>【知識・技能】 各種泳法を理解し、手足バランスを保ち長く又は早く泳ぐことができた。</p> <p>【思考・判断・表現】 選択した泳法に浮いて、動きを分析し、良い点や修正点を指摘できた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 安全に配慮し自他の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事ができた。</p>	○	○	○	9	
	G バドミントン (女子)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ストローク</li> <li>クリア</li> <li>ドライブ</li> <li>サービス</li> <li>ヘアピン</li> <li>スマッシュ</li> <li>簡易ゲーム</li> </ul>	<p>【知識・技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連動した動きによって空間を作り出すなどの攻防ができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 各種の動作で自他の危険を回避し、安全に留意する活動委方法を提案できた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いに応じた動きを大切に、主体的に取り組もうとした。</p>	○	○	○		
	H 卓球 (男女)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ストローク</li> <li>ドライブ、カット</li> <li>サービス</li> <li>ラリー</li> <li>スマッシュ</li> <li>簡易ゲーム</li> </ul>	<p>【知識・技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連動した動きによって空間を作り出すなどの攻防ができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 各種の動作で自他の危険を回避し、安全に留意する活動方法を提案できた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いに応じた動きを大切に、主体的に取り組もうとした。</p>	○	○	○		
	I テニス (男女)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ストローク</li> <li>ボレー</li> <li>サービス</li> <li>ラリー</li> <li>簡易ゲーム</li> </ul>	<p>【知識・技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連動した動きによって空間を作り出すなどの攻防ができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 各種の動作で自他の危険を回避し、安全に留意する活動方法を提案できた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いに応じた動きを大切に、主体的に取り組もうとした。</p>	○	○	○	12	
	J ソフトボール (男子)	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャッチ</li> <li>スロー</li> <li>トスバッティング</li> <li>フィールディング</li> <li>ピッチング</li> <li>簡易ゲーム</li> </ul>	<p>【知識・技能】 状況に応じたバット・グラブ操作や安定した用具の操作と連動した動きによって、打つ、捕る、投げる、走るを実施し、攻防ができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 各種の動作で自他の活動を振り返り、課題解決や安全に留意する活動方法を提案できた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いに応じた動きやフェアプレイを大切に、危険予測をしながら回避行動をとるなどを主体的に取り組もうとした。</p>	○	○	○		
3 学 期	K 持久走 自己の心肺能力を知り、長い時間、 長い距離を自分に適したペースで走 り続けられるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しいランニングフォームの習得</li> <li>適切な腕振りと呼吸法</li> <li>1500m/2000mのペース走</li> <li>1500m/2000mの計測</li> <li>シャトルラン</li> </ul>	<p>【知識・技能】 姿勢と接地について理解できる。腕振りと呼吸について理解できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 適切なペース配分を知り、自己の持久力を評価できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 毎時間の記録目標の設定。パートナーとの相互評価を実施する。単元終了後の振り返り。</p>	○	○	○	12	
	L サッカー/バスケットボール (球技大会種目の練習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルール/競技方法の確認</li> <li>基本的技能の復習</li> <li>対人技能/集団技能の復習</li> <li>ゲーム</li> </ul>	<p>【知識・技能】 安定したボール操作や状況判断、空間を作る、使うなどの動きをゲームなどで行うことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 体力や技能の程度などを配慮して仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫する事ができた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自他の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間への助言することで信頼関係を深め、互いに高めあうことができた。</p>	○	○	○	10	
							合計	
								70

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

音楽の歴史的・文化的背景などとの関わりや音楽の多様性について理解するとともに、音楽表現のための創意工夫、表現上の効果を生かした技能を身に付ける。  
音楽に関する知識および技能を多角的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を工夫・評価するなかで音楽の良さや美しさを感じ取る。  
主体的・協働的な取り組みをし、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育むとともに、個性・感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養っている。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
音楽の歴史的・文化的背景と音楽の構造や曲想との関わり、および音楽の多様性について理解するとともに、自分なりの創意工夫をもって音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。	自分らしい感性のもと、音楽表現を創意工夫すること、さらに音楽を評価しながらよさや美しさを感じ取ることが出来る。	主体的・協働的に幅広く取り組み、感性を高め、音楽文化に親しみ、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育むとともに生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養っている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	態	記 時 数	
		歌	器	創					
1 学期	A 独唱 【知識及び技能】 メロディーと歌詞の関わりについて理解する。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、楽曲にふさわしい発声、歌詞の発音などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力】 旋律や声の音色を理解して、どのように歌唱表現するかについて表現意図を持つ。 【学びに向かう力、人間性等】 曲にふさわしい発声に興味を持ち、主体的・協働的に歌唱の活動に取り組む。	①枝歌 ②この道	○	○	【知識及び技能】 メロディーと歌詞の関わりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、楽曲にふさわしい発声、歌詞の発音などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力】 旋律や声の音色を理解して、どのように歌唱表現するかについて表現意図を持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 曲にふさわしい発声に興味を持ち、主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。	○	○	8	
	B ポディ・パーカッション・アンサンブル 【知識及び技能】 自分なりの創意工夫をもって音符や表現記号を生かした音楽づくりをする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力】 曲の構造を理解し、グループ内で意見交換しながら音楽表現を追究し、よさや美しさを感じ取る。 【学びに向かう力、人間性等】 周囲との音楽的な調和、曲にふさわしい表現に興味を持ち、主体的・協働的にアンサンブルに取り組む。	①クラッキングカルテット	○	○	【知識及び技能】 自分なりの創意工夫をもって音符や表現記号を生かした音楽づくりをする技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力】 曲の構造を理解し、グループ内で意見交換しながら音楽表現を追究し、よさや美しさを感じ取っている。 【学びに向かう力、人間性等】 周囲との音楽的な調和、曲にふさわしい表現に興味を持ち、主体的・協働的にアンサンブルに取り組もうとしている。	○	○	8	
	C ギター独奏 【知識及び技能】 ギターの基本的な構造、曲想とギターの基本的な奏法との関わりを理解する。楽曲にふさわしい奏法などの技術を生身に付ける。 【思考力、判断力、表現力】 音色や和音の響きを知覚しそれらの働きを感じ取りながら、どのように演奏するかについて表現意図を持つ。 【学びに向かう力、人間性等】 ギター独奏に興味を持ち、主体的・協働的に器楽の活動に取り組む。	①チューリップ ②さくら ③上を向いて歩こう ④カントリーロード	○	○	【知識及び技能】 ギターの基本的な構造、曲想とギターの基本的な奏法との関わりを理解している。楽曲にふさわしい奏法などの技術を生身に付けている。 【思考力、判断力、表現力】 音色や和音の響きを知覚しそれらの働きを感じ取りながら、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ギター独奏に興味を持ち、主体的・協働的に器楽の活動に取り組もうとしている。	○	○	10	
2 学期	D 世界の歌、日本の歌 【知識及び技能】 音楽の特性と曲想に応じた発声との関わりについて理解する。楽曲にふさわしい発声、言葉の特徴を捉えた発音などの技能を身に付け、さらに自分なりの創意工夫を生かした歌唱表現を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力】 曲の背景を理解し、旋律や楽器と楽曲の美しさとの関わりについて考え、どのように歌唱表現するか表現意図を持つ。 【学びに向かう力、人間性等】 言語に興味を持ち、楽曲の世界観を主体的・協働的に表現すべく歌唱活動に取り組む。	①0 sole mio ②野ばら ③茉莉花 ④鳥人ぬ宝 ⑤この道	○	○	【知識及び技能】 音楽の特性と曲想に応じた発声との関わりについて理解している。楽曲にふさわしい発声、言葉の特徴を捉えた発音などの技能を身に付け、さらに自分なりの創意工夫を生かした歌唱表現を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力】 曲の背景を理解し、旋律や楽器と楽曲の美しさとの関わりについて考え、どのように歌唱表現するか表現意図を持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 言語に興味を持ち、楽曲の世界観を主体的・協働的に表現すべく歌唱活動に取り組もうとしている。	○	○	10	
	E 和楽器 【知識及び技能】 日本音楽の特徴と歴史的・文化的背景について理解する。華の基本構造や基礎知識、および取り扱い、調弦方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 音色を知覚し、邦楽特有の音階の響きを感じ取りながら美しさを味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の伝統的な音楽に興味を持ち、主体的・協働的に練習に取り組む。	①基礎練習曲 ②さくら ③さくら (アレンジ版)	○	○	【知識及び技能】 日本音楽の特徴と歴史的・文化的背景について理解している。華の基本構造や基礎知識、および取り扱い、調弦方法を理解している。 【思考力、判断力、表現力】 音色を知覚し、邦楽特有の音階の響きを感じ取りながら美しさを味わうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の伝統的な音楽に興味を持ち、主体的・協働的に練習に取り組もうとしている。	○	○	10	
	F ギター独奏 【知識及び技能】 歌詞および曲想、伴奏の関わりについて理解する。楽曲にふさわしい奏法などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力】 音色や和音の響き、および様々な音型を知覚し、それらの働きを感じ取りながら、歌詞との関わりにも着目し、どのように曲想を表現するのかが、表現意図を持つ。 【学びに向かう力、人間性等】 歌詞、曲想、歌詞から感じた雰囲気や自分なりに多角的に知覚し、ギター演奏と歌唱に興味をもって主体的・協働的に活動に取り組む。	①カントリーロード (1学期に学習したコード弾きの発展・弾き語り)	○	○	【知識及び技能】 歌詞および曲想、伴奏の関わりについて理解する。楽曲にふさわしい奏法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力】 音色や和音の響き、および様々な音型を知覚し、それらの働きを感じ取りながら、歌詞との関わりにも着目し、どのように曲想を表現するのかが、表現意図を持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 歌詞、曲想、歌詞から感じた雰囲気や自分なりに多角的に知覚し、ギター演奏と歌唱に興味をもって主体的・協働的に活動に取り組もうとしている。	○	○	10	
3 学期	G キーボード独奏 【知識及び技能】 音階の並びや和音を弾いた時の響きや音型の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力】 音色やリズム、旋律、和音の関係を知識し、それらの働きを感じ、特徴を捉えて、どのように音楽を作り出し、自ら表現するかについて表現意図を持つ。 【学びに向かう力、人間性等】 キーボードの演奏に興味を持ち、主体的・協働的に練習に取り組む。	①大きな栗の木の下で ②歓喜の歌	○	○	【知識及び技能】 音階の並びや和音を弾いた時の響きや音型の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力】 音色やリズム、旋律、和音の関係を知識し、それらの働きを感じ、特徴を捉えて、どのように音楽を作り出し、自ら表現するかについて表現意図を持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 キーボードの演奏に興味を持ち、主体的・協働的に練習に取り組もうとしている。	○	○	8	
	H ミュージカル鑑賞 【知識及び技能】 作品の楽曲の特徴や作品の時代背景、舞台作品としての証言方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 リズムと旋律の動きを知覚して、それらの働きを感じ、音楽の美しさや特徴を捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 物語や登場人物、それぞれのナンバーに関心をもち、主体的・協働的に歌唱や鑑賞の活動に取り組んでいる。	①ミュージカル映画「オペラ座の怪人」	○	○	【知識及び技能】 作品の楽曲の特徴や作品の時代背景、舞台作品としての証言方法を理解している。 【思考力、判断力、表現力】 リズムと旋律の動きを知覚して、それらの働きを感じ、音楽の美しさや特徴を捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 物語や登場人物、それぞれのナンバーに関心をもち、主体的・協働的に歌唱や鑑賞の活動に取り組もうとしている。	○	○	6	
								合計	70

足立 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科： 芸術 科目： 美術 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： （1組：笠原） （2・3組：大橋） （4.5組：大橋） （6.7組：笠原）

使用教科書： （美術 I（光村図書出版））

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術の創造的な表現をするために必要な知識・技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】感性や想像力を働かせて、構想を練り工夫して表現する。

【学びに向かう力、人間性等】創造活動の喜びを味わい、芸術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞に取り組む。

科目 美術 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
創造的な美術の表現をするために必要な知識・技能を身につける。	豊かに発想し構想を練り、意図に応じて材料や用具の特性を活かし、工夫して表現する。	美術や美術工芸文化に関心を持ち、観察を通じた感動・感受を大切にし、自ら学び自ら考える力を養っている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		絵 ・ 彫	デ ・ 映	鑑 賞						
1 学 期	●美術 I 授業の注意 約束事や注意点、授業予定を理解する。 A 鉛筆の使い方と明暗段階 描画材としての鉛筆の特徴（硬度や種類）、使い方・削り方を習得する。枠を作図し6段階の明暗の階調を作成する。	・座席決め。 ・授業時の決まりと授業計画、注意点を理解する。 ・鉛筆の硬度や描画方法を理解する。 ・描画方法に合った鉛筆の安全な削り方を体得する。 ・A4ワークシート上に長方形（中を6分割する）を2つ作図し、それぞれを違う技法を使って鉛筆で塗り明暗（濃淡）階調を作成する。	○		○	・安全に留意して道具を扱えたか。 ・ワークシート上に規則的で美しい明暗階調を作成できたか。 ・意欲的に取り組んだか。	○	○	○	2
	B 鉛筆素描「瓶を描く」 鉛筆素描の基礎を学ぶ。画用紙の特徴と取り扱いを確認する。描写するものに合った構図や、形の捉え方を理解する。空間表現や光の設定を意識し、立体感・質感の表現を工夫する。完成度を高める。	・画用紙の裏表、凹凸を理解。 ・瓶が机に置かれている状況や瓶そのものの大きさが伝わるような構図を考える。 ・形態、バランスを観察。 ・輪郭だけではなく中の形、光と影を意識する。 ・立体感、質感が出てくるように工夫する。 ・時々客観的な視点で眺め完成度を上げていく。	○		○	・描画材の特徴を理解し、表現する力を高められたか。 ・より良い作品を作るために試行錯誤を重ねることができたか。 ・意欲的で粘り強い制作態度が養われたか。	○	○	○	6
	C デザイン基礎「平面構成」 アクリルガッシュとその使用方法を理解する。幾何構成の要点について理解する。四季の一つを主題に選び、その印象に合うよう画面配分や配色を工夫する。彩色の注意点を理解する。	・アクリルガッシュの特性を理解する。 ・「季節」が主題。A4ワークシート枠内を1つの円（円弧）と1本の直線、1本の自由曲線で分割し分割された面を彩色する。 ・各季節の印象に合うよう画面構成と配色を工夫する。 ・彩色する際、塗る順序、絵の具を作る量や加える水の量、塗り方に注意する。		○		・アクリルガッシュの特徴を理解し、美しく塗ることができたか。 ・制約の中で工夫して、各自の季節のイメージを構成できたか。 ・意欲的に取り組んだか。	○	○	○	6
	D 環境または選挙ポスター ポスターの役割を理解する。環境か選挙かを選択し、伝えたい内容を明確にする。様々な資料にあたり、構想を膨らませる。盗作とパロディについて考察し、各自の表現を個性化する。効果的な表現を模索する。（2学期に続く）	・様々なポスターを鑑賞しその役割や効果などを理解する。 ・環境か選挙かを選択し、各種資料なども参考にしながら、伝えたい事柄を明確にしていく。 ・簡単なアイデアスケッチを描きながら構想を膨らませる。 ・主題に沿った「伝わる」コピーも同時に練っていく。		○	○	・ポスターの役割や注意点を理解したか。 ・呼びかける主題を考察し、自分の発想を広げることができたか。 ・より「伝わる」画面やコピーを制作するために粘り強く試行錯誤を重ねることができたか。	○	○	○	12
2 学 期	E 環境または選挙ポスター 文字と図案の構図を工夫する。読みやすい伝わりやすいレイアウトを配置する。丁寧に下絵を描く。「伝わる」効果的な配色を考える。優れた視覚効果が得られるように工夫する。丁寧に塗り、仕上げる。	・1学期に練り上げた構想をもとに、四つ切シート紙に丁寧に下書きをする。 ・バランスを見ながらレイアウトする文字の配置を決めていく。 ・配色計画を立て、塗っていく面積を考慮しながら絵の具を混ぜし、丁寧に塗っていく。彩色途中、確認し、美しく目を引く仕上がりを目指す。		○	○	・美しく仕上がったか。 ・独自性がある、主題が明確に伝わる工夫ができたか。 ・意欲を持って制作に取り組んだか。	○	○	○	20
	F ボールペン画「いきものいる情景」 ボールペンによる線と点でモノクロームの情景を表現する。どんないきものをどんなふうに表示するかイメージを持ち画面構成をする。線や点を重ねることによって立体感や空間を表現できるよう工夫する。	・鉛筆素描とは違うボールペンによる白黒の表現を理解する。 ・表現したいモチーフ（植物、動物、他）を研究し構成を考えA4ワークシートに鉛筆で薄く下書きをする。 ・ボールペンで線や点を重ねていき、密度ある画面に仕上げる。			○	・ボールペンの扱いに慣れ、白黒の多彩な表現ができたか。 ・新鮮な発想で個性的な作品に仕上がったか。 ・粘り強く取り組んだか。	○	○	○	10
3 学 期	G 陶芸スクラッチ皿「食卓を豊かにするいきもの」 前課題や鉛筆素描の白黒の表現を踏まえ、円形の皿に合ったデザインを考えアイデアスケッチを描く。道具、技法について理解する。世界で一つしかない絵皿を道具各種で削って制作する。	・どのような場所、時間にどのような人が使用するかを考慮し、食卓を豊かにするための工芸作品としての年手の制作を意識する。 ・円形で平らではないこと、釉薬を削り取って図柄を表現していくことを理解する。 ・選んだモチーフを円の中にどのように配置、構成していくかスケッチを重ねて練り上げていく。 ・下絵を丁寧に描き、皿に転写する。 ・ニードルや竹串、割り箸などで白くしたい部分の釉薬を削り取っていく。 ・後日800度で焼成（業者に依頼）。	○	○		・削り方を工夫して奥深い表現ができたか。 ・実際に使ってみることを想定して発送できたか。 ・関心を持って根気強く取り組んだか。	○	○	○	8
	H クロッキー「友人を描く」 対象を観察し簡潔な線でその佇まいや特徴を捉え表現する。	・交代で生徒が5分ずつポーズし、それを他生徒が多様な画材でクロッキーする。 ・しっかり観察し、手を動かし瞬時に捉える力をつける。	○		○	・描画材を活かして手を動かせたか。 ・1枚でも瞬時に友人の特徴を捉えて描けたか。 ・短時間でも諦めず、1枚1枚取り組めたか。	○	○	○	6 合 計 70



高等学校 令和5年度（2学年用）教科 外国語(英語) 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科： 外国語(英語) 科目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 2 学年 1～7 組

教科担当者： (1組：吉田) (2組：成田) (3組：成田) (4組：森本) (5組：森本) (6組：森本) (7組：吉田)

使用教科書： (「BIG DIPPER English Communication II」)

教科 外国語(英語) の目標：

【知識及び技能】英語によるコミュニケーション及び表現活動を行うための基礎となる知識やスキルを育成する。

【思考力、判断力、表現力等】英語でコミュニケーション及び表現活動を行うために必要な思考力・判断力・表現力を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】異文化や外国語に対する興味関心を高め、国際社会に役立つ人間性を育む。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
身近な出来事を、基本的な語句を用いて伝え合う技能を身につける。会話している相手の言う内容も正確に理解する。	身につけた知識・技能を活用し、身近な出来事や自分の考えなどを整理して、会話している相手に伝えるように表現する。相手からの質問を正確に理解し、適切に答える。	自分が話したいと思っている内容が相手に伝わるように、積極的に会話を続けようとする。相手の話す内容や質問に対して、耳を傾け、適切な相槌をうちながら、正確に伝わるまで根気よく答えたり、聞き返したりする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 ( や )	話 ( 発 )	書					
1 学 期	Lesson 1・2 【知識及び技能】 本文の概要や要点を把握することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文内容に関する話題について、自分の意見を話す・書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文内容に関する話題について、自分の意見を話したり書こうとしている。	・各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握する。 ・受動態、不定詞、助動詞+be+過去分詞、関係代名詞、現在完了 ・テーマについて、ペアで話し合ったり、Hintsを参考にして自分の考えを表現する。	○	○	○	○	○	○	○	○	28
	定期考査										1
2 学 期	Lesson 3・4 【知識及び技能】 本文の概要や要点を把握することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文内容に関する話題について、自分の意見を話す・書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文内容に関する話題について、自分の意見を話したり書こうとしている。	・各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握する。 ・関係副詞 ・テーマについて、ペアで話し合ったり、Hintsを参考にして自分の考えを表現する。	○	○	○	○	○	○	○	28	
	定期考査									1	
3 学 期	Lesson 5・6 【知識及び技能】 本文の概要や要点を把握することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文内容に関する話題について、自分の意見を話す・書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文内容に関する話題について、自分の意見を話したり書こうとしている。	・各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握する。 ・受動態、分詞構文 ・テーマについて、ペアで話し合ったり、Hintsを参考にして自分の考えを表現する。	○	○	○	○	○	○	○	28	
	定期考査									1	
3 学 期	Lesson 7・8 【知識及び技能】 本文の概要や要点を把握することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文内容に関する話題について、自分の意見を話す・書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文内容に関する話題について、自分の意見を話したり書こうとしている。	・各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握する。 ・動名詞、不定詞 ・テーマについて、ペアで話し合ったり、Hintsを参考にして自分の考えを表現する。	○	○	○	○	○	○	○	28	
	定期考査									1	
3 学 期	Lesson 9・10 【知識及び技能】 本文の概要や要点を把握することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文内容に関する話題について、自分の意見を話す・書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文内容に関する話題について、自分の意見を話したり書こうとしている。	・各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握する。 ・無生物主語、複合関係代名詞 ・テーマについて、ペアで話し合ったり、Hintsを参考にして自分の考えを表現する。	○	○	○	○	○	○	○	23	
	定期考査									1	
合計											140





高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭

科目： 家庭基礎

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： （ 1組～7組： 倉本 直子 寺本 幸子 ）

使用教科書： （ 「家庭基礎 気づく力 築く未来」 実教出版 ）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】 生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解し、それに係る技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通して生活の中から問題を見出して課題を解決する力を身に付ける

【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとする

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域の生活充実向上を図るために実践しようとしている

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 自分らしい生き方と家族 ライフステージごとの特徴・課題、人生設計に必要な要素を理解し、自分の将来とこれからの社会について考える	・これからの人生をデザインする ・自立と共生 ・ライフキャリア ・共に生きる家族 ・家族に関する法律 【教材】 学習ノート、プリント等	【知識・技能】 自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を通して生活課題に対し意思決定していくことの重要性について理解を深めている 【思考・判断・表現】 ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活、自己の意思決定に基づき責任をもって行動することについて、課題を設定し、解決策を構想し、実践・考察するなどして課題を解決する力を身に付けている 【主体的学習に取り組む態度】 生涯の生活設計や青年期の課題について主体的に取り組む、自分や家族、地域生活の充実向上を図るために実践しようとしている	○	○	○	7
	B 衣生活をつくる ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装、被服材料などについて理解し、健康で快適な衣生活に必要な知識と技能を習得する	・人と衣服のかかわり ・衣服の素材の種類と特徴 ・衣服の選択から管理まで ・持続可能な衣生活をつくる ・衣服の構造、デザイン 【教材】 学習ノート、プリント等	【知識・技能】 被服の機能と着装、被服材料、被服構成及び被服衛生を理解し、ライフステージや目的に応じた選択ができる。また、計画的な被服の購入と管理に必要な技能を身に付けている 【思考・判断・表現】 被服の機能性や快適性について考察するとともに安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装を工夫できる 【主体的学習に取り組む態度】 衣生活の課題などに主体的に取り組む、自分や家族、地域生活の充実向上を図るために実践しようとしている	○	○	○	11
	C 食生活をつくる 栄養の特徴や食品の栄養的特徴、食の安全、健康や環境に配慮した食生活について理解し、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な知識と技能を習得する	・日本の食文化の形成 ・私たちの食生活 ・栄養と食品のかかわり 【教材】 学習ノート、プリント等	【知識・技能】 ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活、食品の調理上の特性、食品衛生をふまえて、自己や家族の食生活の計画・管理及び調理に必要な技能を身に付けている 【思考・判断・表現】 自己や家族の食事を工夫できるとともに、食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活を営む力を身に付けている 【主体的学習に取り組む態度】 食生活の課題などに主体的に取り組む、自分や家族、地域生活の充実向上を図るために実践しようとしている	○	○	○	4
	D ホームプロジェクト 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける	・ホームプロジェクトとは ・ホームプロジェクトの計画と実践 【教材】 学習ノート、プリント等	【知識・技能】 ホームプロジェクトの活動意義と実施方法について理解している 【思考・判断・表現】 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、課題を設定し、解決策を構想し、実践・考察するなどして課題を解決する力を身に付けている 【主体的学習に取り組む態度】 生活上の課題などに主体的に取り組む、自分や家族、地域生活の充実向上を図るために実践しようとしている		○	○	1
	定期考査			○	○		1
	E ホームプロジェクト 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける	・ホームプロジェクトの実践報告 【教材】 学習ノート、プリント等	【知識・技能】 ホームプロジェクトの活動意義と実施方法について理解している 【思考・判断・表現】 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、課題を設定し、解決策を構想し、実践・考察するなどして課題を解決する力を身に付けている 【主体的学習に取り組む態度】 生活上の課題などに主体的に取り組む、自分や家族、地域生活の充実向上を図るために実践しようとしている		○	○	2

2 学 期	F 食生活をつくる 栄養の特徴や食品の栄養的特徴、食の安全、健康や環境に配慮した食生活について理解し、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な知識と技能を習得する	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品の選び方と安全</li> <li>食事の計画と調理</li> <li>調理実習</li> <li>これからの食生活を考える</li> </ul> 【教材】 学習ノート、プリント等	【知識・技能】 ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活、食品の調理上の特性、食品衛生をふまえて、自己や家族の食生活の計画・管理及び調理に必要な技能を身につけている 【思考・判断・表現】 自己や家族の食事を工夫できるとともに、食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活を営む力を身につけている 【主体的学習に取り組む態度】 食生活の課題などに主体的に取り組み、自分や家族、地域生活の充実向上を図るために実践しようとしている	○	○	○	11
	G 子どもとかかわる 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもを取り巻く社会環境、子育て支援についての知識および乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を習得する	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもとは</li> <li>子どもの発達</li> <li>子ども生活</li> <li>子どもをはぐくむ</li> <li>子どものための社会福祉</li> <li>製作実習（絵本）</li> </ul> 【教材】 学習ノート、プリント等	【知識・技能】 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもを取り巻く社会環境、子育て支援についての知識および乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身につけている 【思考・判断・表現】 子どもを生み育てることの意義について考えることができ、子どもの健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の課題を解決しようとする力を身につけている 【主体的学習に取り組む態度】 子供の健やかな成長のための課題などに主体的に取り組み、自分や家族、地域生活の充実向上を図るために実践しようとしている	○	○	○	7
	H 高齢者とかかわる 高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護についての知識及び生活支援に関する基礎的な技能を習得する	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢社会に生きる</li> <li>高齢者を知る</li> <li>高齢者の自立を支える</li> <li>高齢社会を支えるしくみ</li> </ul> 【教材】 学習ノート、プリント等	【知識・技能】 高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護についての知識及び生活支援に関する基礎的な技能を身につけている 【思考・判断・表現】 高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性についての課題を解決しようとする力を身につけている 【主体的学習に取り組む態度】 高齢者の課題などに主体的に取り組み、自分や家族、地域生活の充実向上を図るために実践しようとしている	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
3 学 期	I 消費行動を考える 消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組み、持続可能な消費について理解し、自立した消費者として行動できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費行動と意思決定</li> <li>消費生活の現状と課題</li> <li>消費者の権利と責任</li> <li>ライフスタイルと環境</li> </ul> 【教材】 学習ノート、プリント等	【知識・技能】 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解し、生活情報を適切に収集・整理できる 【思考・判断・表現】 持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な社会と消費について問題を見出して課題を設定し、課題を設定し、解決策を構想し、実践・考察するなどして課題を解決する力を身につけている 【主体的学習に取り組む態度】 消費行動と意思決定や持続可能なライフスタイルと環境の課題などに主体的に取り組み、自分や家族、地域生活の充実向上を図るために実践しようとしている	○	○	○	6
	J 住生活をつくる ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解し、適切な住居の計画・管理に必要な知識や技能を習得する	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間と住まい</li> <li>住まいの文化</li> <li>住まいを計画する（実習含む）</li> <li>健康に配慮した快適な室内環境</li> <li>安全な住まい</li> <li>持続可能な住まいづくり</li> </ul> 【教材】 学習ノート、プリント等	【知識・技能】 ライフステージに応じた住生活の特徴、防犯などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解し、適切な住居の計画・管理に必要な知識や技能を身につけている 【思考・判断・表現】 防災などの安全や環境に配慮した住生活や住環境を工夫できる 【主体的学習に取り組む態度】 住生活の課題などに主体的に取り組み、自分や家族、地域生活の充実向上を図るために実践しようとしている	○	○	○	7
	K 経済的に自立する 家計の構造や生活における経済と社会の関わり、家計管理を理解し、生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性を理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>暮らしと経済</li> <li>将来のライフプランニング</li> </ul> 【教材】 学習ノート、プリント等	【知識・技能】 家計の構造や生活における経済と社会の関わり、家計管理について理解している 【思考・判断・表現】 生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性を認識し、ライフステージや社会保障制度などと関連付けて考察できる 【主体的学習に取り組む態度】 生活における経済の課題などに主体的に取り組み、自分や家族、地域生活の充実向上を図るために実践しようとしている	○	○	○	4
	L 社会とかかわる 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援についての知識を習得する	<ul style="list-style-type: none"> <li>支え合って生きる</li> <li>共生社会を生きる</li> </ul> 【教材】 学習ノート、プリント等	【知識・技能】 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している 【思考・判断・表現】 家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支えあって生活することの重要性を認識し、ライフステージや社会保障制度などと関連付けて考察できる 【主体的学習に取り組む態度】 共生社会の課題などに主体的に取り組み、自分や家族、地域生活の充実向上を図るために実践しようとしている	○	○	○	2
定期考査			○	○		1	
合計							70

